

楽しく交流!“関わりたい”があふれるまちへ



4月19日・20日 古川祭で屋台曳きを体験するヒダスケ!参加者



観光客と移住者の間で、特定の地域に多様に関わり続ける人々を「関係人口」と呼び、人口減少による担い手不足解消の一助に役立てられています。

関係人口
レッマなんだろう

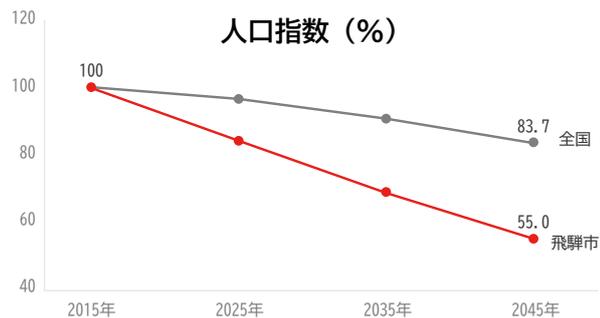


“また来たい”がまちのチカラへ

飛騨市は全国平均の倍のスピードで人口減少が進み、高齢化率もすでに20年後の全国平均推計値を上回っています。そんな中、市は、人口が減っても心豊かに楽しく暮らせるまちを目指して、「関係人口」に着目した取り組みを推進しています。

飛騨市ファンクラブやヒダスケ!の活動を通じて、飛騨市に心を寄せてくださる関係人口は大幅に増加。その成果は全国的にも高く評価され、飛騨市を中心に取り組みが拡がりを見せています。

今後は市内外の人との交流をさらに加速させていくことが求められます。



※出典：総務省 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口、総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数



飛騨市と共同研究中!

おだざり とくみ
明治大学農学部 小田切徳美教授



5月17日飛騨発つながりづくりシンポジウム



「関係人口」は、いまや地域にとって欠かせない存在です。彼らは地域の再生や発展、そして持続のために、一緒に汗をかく仲間です。しかし、「助ける-助けられる」という関係では長続きしません。むしろ、活動を一緒に楽しむことが重要です。

「ヒダスケ!」はその具体的方法を示しています。市内のいくつかの地域や団体では、この取り組みにより空気感が前向きに変わったという声も聞かれます。

このように、関係人口の意義と実践は、飛騨市から全国に発信され、注目を集めています。

2017年～

住んでいなくても飛騨市を応援！ 飛騨市ファンクラブ

飛騨市を“好き”のカタチはいろいろ

離れていても飛騨市を身近に感じ、応援していただけるように2017年に「飛騨市ファンクラブ」を設立。

入会すると会員証や市をPRする名刺がもらえるほか、会員限定イベントに参加できます。お米やお酒、宇宙物理学、自然など市内の資源をテーマとした「部活動」も行っています。現在は、氷見市など他自治体ファンクラブとの交流にも力を入れています。

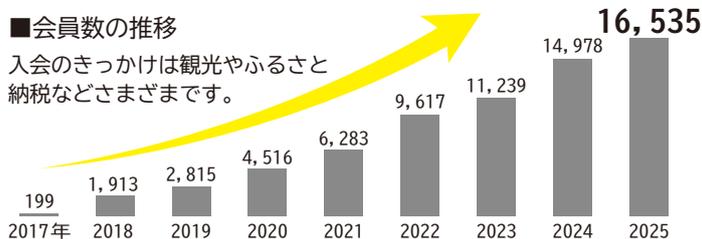
会員の皆さんは観光スポットを巡ることに加え、市民の皆さんとの会話や交流を楽しむ方々も多いです。



イベントで名刺交換

■会員数の推移

入会のきっかけは観光やふるさと納税などさまざまです。



会員向けバスツアー

飛騨市ファンクラブには市民の皆さんも入会できます。ぜひご入会ください。



飛騨市ファンクラブホームページ

飛騨市ファンクラブ事務局

今では会員数16,000人を突破し、全国の皆さんに応援していただける存在に成長しました。今後も会員の皆さんが飛騨市を身近に感じてもらえる取り組みを展開していきます。市民の皆さんからの企画やアイデアも大歓迎です。一緒に飛騨市ファンとの活動を盛り上げていきましょう！



2020年～

ファンの声から誕生 ヒダスケ！-飛騨市の関係案内所

交流しながら楽しくお手伝い

ファンクラブ会員から「お手伝いをしたい」という声が寄せられたことをきっかけに、2020年に市内の困りごとの解決のために市内外の方に手伝ってもらう「ヒダスケ！」がスタート。活動に参加すると1回あたりさるぼぼポイント500ポイント等がもらえます。

景観保全活動や祭りのお手伝いなどプログラム数は年々増加し、昨年は1年間で119件で、延べ1,500人が参加。そのうち、市外からの参加は約7割を占めています。最近では市内中学生の参加も増えています。



ヒダスケ！の様子



「うれしい、楽しい、面白い」を合言葉に 活動を行っています。

ヒダスケ！プログラムはウェブでご覧いただけます。



ヒダスケ！ホームページ

集落支援員 ながいし ともき 永石智貴さん



コロナ禍に始まった取り組みですが、5年目を迎え、年々参加者が増えています。

ヒダスケ！は市民の皆さんあってこそプロジェクトです。一緒に楽しみながら市内外の人と交流しましょう！

利用してみたいという方はまずはお相談ください。

また来たい!

“関わりたい!”と思う理由 — 関係人口のリアルボイス



ヒダスケ!のおかげでイベント運営がスムーズに!

飛騨市での経験は第二のふるさとを見つけたような感覚



リレーマラソンを実施する会
事務局

ひらさわ ゆり
平澤百合さん

ヒダスケ!は、市制20周年記念のリレーマラソンで利用させてもらいました。走路に立つ人が必要だったり、コースの途中で応援してくれる人がいるとランナーが楽しく走れるのではないかと思います、利用しました。実際自分たちで知り合いにお願いするよりも多くの方に来ていただけて新しい出会いもありました。当日は雨だったにも関わらず、最後まで案内と応援をしてくださり、ランナーたちに力をいただきました。

農業も国際交流もヒダスケ!と一線者に



兵庫県在住
ヒダスケ!に3回参加

ちば しほ
千葉詩穂さん

サイクリングツアーの時にガイドや飛騨市の方と関わり、「もっとこの町と関わりたい」と思ってヒダスケ!に参加するようになりました。毎回ハッピーになって帰ります(笑)。ずっと都市圏で暮らしてきたので、大人になってから故郷を見つけた感じで充実感がありますね。こうした関わりはなかなかなくて最初の一步が難しいんですが、ここは手軽にきっかけを作って助けてくださるのがいいですね。

屋台曳きの体験で飛騨市の魅力をさらに体感



有機トマト農家
飛騨国際交流推進委員会

ながた じゅん
長田潤さん

新規就農にあたり、農業ハウスの建設でヒダスケ!を利用しました。県内外から応募があり驚きました。1人での作業に比べて格段に作業が進んだのはもちろん、「こうしたらいんじゃない?」という作業上の工夫のアイデアも参加者の方からいただくことができ、作業効率もアップしました。また、国際交流活動で「食と森の祭典」にミャンマー料理を出品する際もヒダスケ!を利用し、大変助かりました。



富山県在住
古川祭屋台曳きに参加

すずき しょうじ
鈴木尚二さん

街に祭一色の空気が流れ、笛や太鼓、ギギギーと屋台を曳く音が響き、「この音こそ祭だ!」と気分が上がりました。初めて街中で観る鳳凰台は美しく、風景とマッチしていました。屋台の曳き手はチームワークが大切で、掛け声を合わせてみんなで曳かないと屋台は動かず、見事なチームワーク力を体験してもらい、改めて飛騨市のファンになりました。鳳凰台の皆さんに感謝しています。



あなたも飛騨市ファンクラブやヒダスケ!に参加してみませんか?

飛騨市ファンクラブへの入会やヒダスケ!の利用について関心のある方は、ふるさと応援課(0577-62-8904)までお問い合わせください。



ヒダスケ!の利用方法や活動をまとめた動画を公開しています。ぜひご覧ください。



飛騨発つながりづくりイノベーション ~これからの関係人口を語ろう



飛騨市の関係人口プロジェクトの8年間の歩みを書籍にまとめました。全284ページ。税込1,540円。

ふるさと応援課窓口、Amazon、飛騨市ファンクラブオンラインショップでお買い求めいただけます。

